

(ここにこ通心)

平成28年7月

vol. 72

勝裕 章



笑顔相続落語、聴いてきました

暑中見舞い申し上げます。

vol. 70でご紹介した“笑顔相続落語”に僕のお客様やそのご友人の方々が10名参加されました。

- ・落語「笑って泣いて理解する天国からのラブレタ
- ・エンディングノート書き方劇場
- ・の二部構成でした。



参加された方々の感想は…

- ・落語が純粹に面白かった
- ・今まで他人事だった相続が少し身近に感じた。
- ・いつかは考えないといけないけど、うちにはまだ早いかな、といったご意見もありました。

そば中、参加者のおひとりから後日、次のようなお言葉をいただきました。

「あの夜、家に帰って主人と話をしました。お互い元気な今だからこそ、遺言書を書いてね、と話し合って決めたんです。その時、必ず付言事項を書いて。愛する家族に贈る最後のメッセージ」と、とても素敵なことだと思うわ。その時はかちゃん(勝裕)証人に見てね」と。

涙が出るほど嬉しかったと同時に、相続発生後の手続き、発生前の対策、その他相続に関するさまざまな疑問やお悩みの第一次相談窓口として、しっかり勉強して期待に応えられる人間になつていかねば、と思いました。

相続は、財産を分ける、という物理的なことはもちろんですが、故人の想いを次世代に繋ぐ「想続」とも言われます。すべての人にあつまること、まさに人生最後の仕事。

もうすぐお盆を迎えます。家族が集まるこの機会、ご先祖様のこと、家族の近況のこと、そしてこれからのこと、話してみてはいいかもしくはせんね。

付言事項

遺言書の最後に書き添える、ご家族おひとりおひとりへのメッセージ。

あなたのことを今までどのように想っていたか。またこれからどう生きていってほしいか・・・

どうしてこのような内容の遺言書にしたのかも書いておく。家族がこれから生きていく上で、心の支え、道しるべになるとと共に、不要な争いを避けることにも繋がる、と言われています。

ちょっとひと息

かつひろあき?
かつひろあきら?
どう? 笑



最近の電話セールスあるあるです。

(見知らぬ番号からの着信で、後ろも電話でがやついでいる様子)

相手) もほしー、勝(カツ)さんでいらっしゃいますか?

僕) ちがいます。

相手) すみません。間違えましたー。?

僕) はーい、ガチャッ。

終了~

勝裕オリジナルの電話セールスのお断り方です(笑)

The trial version converts only 1 page. Evaluation only.

Converted by First PDF.

(Licensed version doesn't display this notice and converts the whole PDF document!)

[Click to get the license for First PDF.](#)